

2013年7月4日

TANAKA ホールディングス株式会社

日本エレクトロプレATING・エンジニアス、安価で小型・高機能な 半導体ウエハー用全自動めっき装置を7月5日から販売開始

従来品より価格約40%減、装置サイズ約40%縮小、生産スピード1.5倍、スマートフォン部材量産向け
同時に、米国での新たな販売チャネルを加え、米国全土での事業拡大を狙う

TANAKA ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡本英彌）は、田中貴金属グループのめっき事業を展開する日本エレクトロプレATING・エンジニアス株式会社（本社：神奈川県平塚市、代表取締役社長：内藤和正、以下：EEJA）が、安価で小型・高機能な半導体ウエハー用全自動めっき装置「POSFER-E シリーズ」を開発し、7月5日から販売することを発表します。

「POSFER-E シリーズ」は、8インチ以下の半導体ウエハーを全自動で量産することができるめっき装置です。幅3,400mm、奥行1,950mmというコンパクトな装置サイズでありながら、ウエハー生産量は月産1万2,780枚という高速生産を実現しました。従来品である「POSFER-C シリーズ」（装置サイズ幅5,650mm、奥行き2,000mm、月産8,500枚）と比べると、価格は約40%安く、装置サイズは約40%小さく、生産スピードは約1.5倍に向上しました。また、ウエハー表面のめっき液を強く攪拌（かくはん）できるカップ構造を採用しているため、深いビア（※¹）への埋め込み性や均一電着性を改善することができます。

8インチ以下の半導体ウエハーは、スマートフォンの部材に使われるコンデンサーや無線LANモジュール、ブルートゥースモジュール、メモリといった電子部品やLED（発光ダイオード）を製造するために使われています。従来は、「POSFER-C シリーズ」でもクリーンルーム内に設置することができましたが、半導体製造装置の小型化が進む中、現在は大型のめっき装置を設置することが難しくなってきました。また、「POSFER-C シリーズ」は高生産性を実現するために多くの部材を使用しており、価格が高いという問題がありました。EEJAでは、こうした問題を解決するため、高密度電流による高速めっきを実現することでめっきカップ数を削減したほか、



「POSFER-E シリーズ」外観（イメージ）

搬送効率を上げるために2アーム式のロボットを採用するなど、根本的にめっき装置の構造を改良することで、「POSFER-E シリーズ」の開発に成功しました。7月5日からは、1層のめっき膜を形成することができるシングルめっきタイプを、「POSFER-E シリーズ」のラインナップとして販売します。また、2014年春季には、2層以上のめっき膜を形成することができるマルチめっきタイプを、「POSFER-E シリーズ」のラインナップに加えて、販売開始する予定です。

EEJA は、国内や米国を中心に「POSFER-E シリーズ」を販売し、年間12億円の売り上げを目指します。また、将来的には、12インチの半導体ウエハーを全自動で量産することができる小型のめっき装置の開発も進め、更なる業容の拡大に努めてまいります。

■ 米国における販売代理店を新たに追加し、米国全土の顧客にめっき装置を拡販

「POSFER-E シリーズ」の販売に合わせて、EEJA は、米国におけるめっき装置販売の新たな代理店として、田中貴金属グループ製品の輸出入販売を行う田中貴金属インターナショナル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤恒夫、以下：TKI）と販売代理契約を締結しました。同時にTKIは、米国全土に販売チャネルを持つバキュームエンジニアリング・アンド・マテリアルズ社（Vacuum Engineering & Materials Co., Inc.、以下：VEM社）と販売代理契約を締結しました。販売にあたり、VEM社は顧客への営業活動を行い、TKIは顧客への見積書の提出や与信業務を行います。これにより、EEJA は、米国西海岸エリアが中心だった販売チャネルを米国全土にまで広げることができます。

これまで、EEJA 製のめっき装置は、半導体産業が盛んな西海岸エリアの顧客が中心でしたが、現在、スマートフォン向け電子部品の需要拡大などを背景に、米国全土の顧客からも引き合いが増えてきました。このため、EEJA では、米国全土に対して更なる販路拡大が見込めると判断し、TKI および VEM 社を新たなめっき装置の販売代理店とすることを決定しました。

めっき装置メーカーが米国で装置を販売する際は、多くの場合、販売代理店を通してめっき装置を販売します。EEJA では、これまで、カリフォルニア州サンタクララ市にあるカーメル・ケミカル社（Carmel Chemicals Inc.）と販売代理契約をしていました。カーメル・ケミカル社は、西海岸エリアを拠点として販売活動を行う企業で、ウエハーバンプめっき装置やICリードフレームに関するめっき装置を大手顧客などに多数販売しています。EEJA では、今後、米国全土の顧客へめっき装置を拡販するため、カーメル・ケミカル社に加えて、TKI および VEM 社と契約を締結しました。

EEJA は、「POSFER シリーズ」をはじめとした量産型フルオート機や各種セミオート機、無電解めっき装置を米国で販売しています。EEJA では、TKI および VEM 社をめっき装置の販売代理店に加えたことにより、2016年までに、米国における年間売り上げを、現在の約6倍にまで引き上げることを目指しています。

なお、来る7月9日（火）から11日（木）の3日間、アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコのモスコニー・センター（Moscone Convention Center）で行われる半導体製造装置・材料の国際展示会「SEMICON West 2013」に、EEJA の各製品を出展します。展示ブース（1619）では、常駐する技術担当者に取材も可能です。

(※1) ビア :

半導体チップの小型化技術として、チップの上下層を金属電極で接続するために、ウエハーやガラス基板に開けた微細な導通孔のこと。最近では、ビアの穴径が10マイクロメートルから20マイクロメートル程度と小さくなっており、従来のめっきカップでは、ビアの内部へ金属をめっきする(埋める)ことが難しくなってきました。「POSFER-E シリーズ」は、ウエハー表面のめっき液を強く攪拌できるカップ構造を採用しているため、深くて小径のビアでも金属をめっきすることができます。

■TANAKA ホールディングス株式会社 (田中貴金属グループを統括する持株会社)

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885年 設立：1918年 資本金：5億円

グループ連結従業員数：3,869名(2011年度)

グループ連結売上高：10,640億円(2011年度)

グループの主な事業内容：貴金属地金(白金、金、銀ほか)及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HPアドレス：<http://www.tanaka.co.jp>

■日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社

略称：EEJA (Electroplating Engineers of Japan Ltd.)

本社：神奈川県平塚市新町5-50

代表：代表取締役社長 内藤 和正

設立：1965年 資本金：1億円

従業員数：91名(2011年度)

売上高：257億3千万円(2011年度)

事業内容：

1. エンソン(Enthone)グループとの技術提携によるセルレックス(SEL-REX) 貴金属・卑金属めっき液、添加剤および表面処理関連薬品の開発、製造、販売、輸出業
2. めっき装置の開発、製造、販売、輸出業
3. その他めっき関連製品の輸入、販売

HPアドレス：<http://www.eeja.com/>

■田中貴金属インターナショナル株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 佐藤 恒夫

創業：1996年 設立：1996年 資本金：4.7億円

従業員数：107名(2011年度)

売上高：1,905億円(2011年度)

事業内容：田中貴金属グループの各種工業用製品、製造プラントなどの輸出入並びに販売

HPアドレス：<http://pro.tanaka.co.jp>

■バキュームエンジニアリング・アンド・マテリアルズ社

バキュームエンジニアリング・アンド・マテリアルズ社 (Vacuum Engineering & Materials Co., Inc.) は、1987年にカリフォルニア北部の半導体市場向けの高純度金属を扱う資材卸会社として設立されました。その後、薄膜材料の取り扱いを始め、半導体、化合物半導体、無線 RF やマイクロ波製品などに向けた製造・販売を行っています。

本社 : 390 Reed Street Santa Clara, CA 95050 USA

フリーダイヤル : +1-877-986-8900

TEL : +1-408-871-9900

FAX : +1-408-562-9125

E-mail : info[at]vem-co.com

HP アドレス : <http://www.vem-co.com/>

<田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは1885年(明治18年)の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010年4月1日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社(グループの親会社)とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核8社は以下の通りです。

- ・ TANAKA ホールディングス株式会社 (純粋持株会社)
- ・ 田中貴金属インターナショナル株式会社
- ・ 日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ株式会社
- ・ 田中貴金属ビジネスサービス株式会社
- ・ 田中貴金属工業株式会社
- ・ 田中貴金属販売株式会社
- ・ 田中電子工業株式会社
- ・ 田中貴金属ジュエリー株式会社